

～首都圏への通学を支援します～  
「通学版 <sup>らくちん</sup> 楽賃」の実施について



全国的に人口減少・高齢化が進む中で、人口の東京一極集中は止まらず、市外から大勢の高校生が集まる本市においても、大学進学を機に、多くの若者が東京圏へ転出し、そのまま都内で就職するケースが少なくありません。

そこで、2017、2018年の『「住みたい田舎」ベストランキング』若者世代部門において、2年連続全国第1位となった本市の記念事業として、ご好評頂いている通勤補助「楽賃」の通学版を、平成30年4月から開始いたします。

東武鉄道を利用することにより都内へ約1時間で行ける本市の特性を活かして、都内へ引っ越すことなくお子さんに自宅から通学していただければ、親としても安心ですし、親子のきずな、地域との繋がりが、より一層深まります。

なお、「通学版楽賃」の詳細については、現在検討中でありますので、決定次第公表するとともに、必要な予算を平成30年度予算に計上し、議会の同意が頂けるよう努めてまいります。

## 概 要

### 1 対象者

東武鉄道を利用して、市内から都内へ通学する大学生及び短大生  
※新規入学者だけでなく、在学中の方も対象とします。  
※東京都周辺エリアも対象とする可能性があります。

### 2 補助額

通学定期券の購入費の一部として年間2万円まで  
(参考) 東武金崎駅⇄浅草駅 通学定期券 年額67,940円

### 3 手続き

学生証と通学定期券の写しを提出すれば申請と請求が同時にできるよう、簡素化を図ります。

### 4 予算計上額

600万円(2万円×300人)  
※東武鉄道によると、平成28年度における都内通学者は約230名。